

使用上の注意

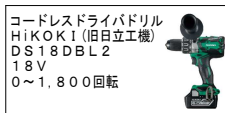
| 品番 | 適応壁厚(mm) | 鉄下地厚(mm) | 最大引張強度N(kgf) t=mm | 参考ドリル径 |
|----------------------|----------|----------|--|-----------|
| NewSM8×53 p1.25細目ネジ | 30 | 1.6~3.2 | 1.6t- 5,000 (510) | φ6.8~φ6.9 |
| NewSM8×63 p1.25細目ネジ | 40 | | 2.3t- 8,300 (846) | |
| NewSM8×78 p1.25細目ネジ | 55 | | 3.2t-13,200(1,346) | |
| NewSM8×103 p1.25細目ネジ | 80 | | | |
| SM8×78 p1.8粗目ネジ | 55 | 2.3~4.5 | 2.3t- 5,864 (598) 3.2t- 8,414 (858) 4.5t-14,386(1,467) | φ6.8~φ6.9 |
| SM8×128 p1.8粗目ネジ | 105 | 2.3~6.5 | 2.3t- 5,864 (598) | φ6.8~φ6.9 |
| SM8×158 p1.8粗目ネジ | 135 | | 3.2t- 8,414 (858) | |
| SM8×178 p1.8粗目ネジ | 155 | | 4.5t-14,386(1,467) | |
| SM8×198 p1.8粗目ネジ | 175 | | 6.0t-19,613(2,000) | |

推力 20Kgf~25Kgf

但し、工具に過大な推力を加えると、回転にブレーキを掛け穴明け・ネジ立ての能率低下を招きます。

推奨回転数：毎分1,300~1,700

推奨工具 (回転専用のスクリュードライバです、下記は2020.03現在を基にしています)



△安全率は2.0を目安にして下さい。許容荷重の定めは致し兼ねます。施工状態の良し悪しで記載した最大引張強度は大きな差が生じますので、十分配慮して下さい。引張強度と圧縮強度は施工状態で著しく異なります。

△(社)仮設工業会編の足場工事実務マニュアルに準じて、十分な安全率を考慮して施工を行って下さい。

△インパクトレンチ・インパクトドライバでは、正常な穴加工とネジ立が行えませんので使用しないで下さい。

△下地が厚い場合で、ネジ立てがスムーズに出来ない場合は、回転を下げてトルク調整して下さい。

△付属の専用ビットを必ず使用して下さい。

△専用ビット・推奨工具以外の工具では、ネジ頭部のリセスとビットの係合トラブルを招く場合が有ります。

△締結下地に直角にねじ込み、曲げ方向の荷重が掛からない状態で接続して下さい。

△下穴を別工具で穴明けしての使用は最大引張強度の保証はできません。

△鉄下地に下穴を明ける場合は、参考ドリル径を基に回転専用工具を必ず使用して下さい。

△壁面と高ナットに僅かな隙間を設けて下さい。

△壁つなぎ雄ネジに傷や付着物、錆び等のまま接続しないで下さい。

イファス株式会社/株式会社シグテックファスナー

詳しい情報はこちらから <http://www.iifas.jp> Email:sales@iifas.jp

NO-000160